

【OBD検査】について

準備はこれから、内容を知りたいという事業場はご確認ください。

OBD検査は、指定工場による「OBD検査」と、認証工場による持ち込み検査前の「OBD確認」の二つに分けられます。

Point

指定工場は、令和6年10月からのOBD検査開始に向けた準備が必要です。

OBD検査開始後、準備ができていない場合には、対象車両に対して、保安基準適合証の交付ができなくなります。

早めに準備し、プレ運用期間中に、「OBD検査」習熟のための練習を行ってみましょう。

Point

認証工場は、令和6年10月より検査コースにおけるOBD検査を受けることになります。

事前の『OBD確認』は義務ではありませんが、指定工場が行うOBD検査と同様の作業を行うことで、特定DTC「故障コード」による検査結果(合否)判定を事前に確認できます。

その結果、検査コースでのOBD検査の省略と、再検査のリスクを回避できます。

特に検査コースにおける特定DTC「故障コード」検出による不合格は、修理と再検査に伴う時間を要し、お客様からの信頼性を失う可能性がありますので注意しましょう。

いずれにしても、事前に自動車技術総合機構のシステムに登録をしておく必要があります。

『 1 』 運用スケジュールは？

- 国産車の本格運用 令和6年10月～
- 輸入車の本格運用 令和7年10月～

『 2 』 検査対象の車両は？

- 国産車
令和3年10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）
 - 輸入車
令和4年10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）
- 《ただし、大型特殊自動車、被牽引自動車、二輪自動車を除く》

『 3 』 対象車両の確認方法は？

- **方法1**
車検証、電子車検証の備考欄で確認できます。
対象車は備考欄へ「OBD検査対象車」などの記載があります。
- **方法2**
「特定DTC照会アプリ」や「OBD検査結果照会システム」で確認することができます。

『 4 』 必要な環境と機器は？

- インターネット環境
- PCまたはタブレット(Windows10以上インストール済)
特定DTC照会アプリのダウンロードが必要です。
- 検査用スキャンツール(OBD検査対応機種)
特定DTC照会アプリのダウンロードが必要です。

『 5 』 OBD検査システムに関連する業務は？

大きく3つの関連する業務と使用するシステムがあります。

1. OBD検査の利用者登録・管理……利用者管理システム
2. OBD検査の実施……「特定DTC照会アプリ」システム
3. OBD検査結果の確認……OBD検査結果参照システム

ピックアップして説明します↓

2. OBD検査の実施

OBD検査は①～⑥の順番で作業が進んでいくイメージです。



『 6 』 システム利用のため、まず行うことは？

1 : 事業場 ID 登録

まず、利用者(整備事業者)において、専用のポータルサイトからメールアドレス等を入力して**事業場 ID 登録の申請手続きが必要です。**

この申請については、振興会が利用者の情報を取りまとめて行う、当該システムへの一括申請を行っていますのでご利用ください。

山整振 O B D 検査アプリ登録フォームはこちらから

<https://req.qubo.jp/yaspa8282/form/obd>



まず、ここをクリックしてください。

次に、表示画面にある項目を入力してください。

最後に、**送信**を押すと振興会へ内容が送られます。

振興会は受取った情報をまとめて一括申請を行います。

一括申請後、約 2 ~ 3 週間後に各事業場へメールが届きます。
後は、届いたメール内容に沿って作業を進めてください。

メールが届いた後に行う作業内容

2 : クライアント証明書のインストール

注意：有効期間 1 カ月

「クライアント証明書」は PC・タブレット等へ入れてください。

入れる前に有効期間が切れた場合は、届いたメールに記載されているサポートセンターへ連絡され再発行をお願いしてください。

利用者管理システム画面からの再発行も可能です。

3 : 管理システムにログインして利用者登録

管理システム画面の中からこちらの操作が可能です。

4 : 「特定 D T C 照会アプリ」をダウンロード

5 : 検査用スキャンツールの端末(タブレット含む)に「特定 D T C 照会アプリ」をメールまたは USB メモリで展開しインストール

<OBD 検査ポータルサイトにある説明サイトへは直接こちらからどうぞ>

動画説明

OBD 検査の概要

<https://youtu.be/tFPCudy5Ipc>

OBD 検査の準備（初めて OBD 検査を実施される方）

<https://youtu.be/DsuCbuFNnMg>

OBD 検査の準備（初めて特定 DTC 照会アプリを利用される方）

https://youtu.be/DgoON_W09Eg

OBD 検査システムの管理（登録情報の確認・変更、検査実績の確認）

<https://youtu.be/aye2ivUKHyA>

OBD 検査の実施

<https://youtu.be/g0KE-gTGv9w>

OBD 検査の結果確認

<https://youtu.be/8iKGaPV674M>

操作マニュアル

「利用者管理システム」操作マニュアル

対象読者 → 整備事業者（管理責任者、統括管理責任者）

<https://www.obd.naltec.go.jp/wp-content/uploads/%E5%88%A9%E7%94%A8%E8%80%85%E7%AE%A1%E7%90%86%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%BB%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB.pdf>

「特定 DTC 照会アプリ」操作マニュアル

対象読者 → 事業場の工員または検査員

<https://www.obd.naltec.go.jp/wp-content/uploads/%E7%89%B9%E5%AE%9ADTC%E7%85%A7%E4%BC%9A%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB.pdf>

「OBD 検査結果参照システム」操作マニュアル

対象読者 → 事業場の工員または検査員

<https://www.obd.naltec.go.jp/wp-content/uploads/OBD%E6%A4%9C%E6%9F%BB%E7%B5%90%E6%9E%9C%E5%8F%82%E7%85%A7%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%BB%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB.pdf>

OBD 検査に関する FAQ

<https://www.obd.naltec.go.jp/faq/>

OBD検査には「検査用スキャンツール」が必要です。

スキャンツールには下記の2つの種類があります。

整備用スキャンツール

従来型の、整備士の作業をサポートし、車両の状態を診断して適切な作業を行う際に使用するスキャンツール。

故障コード読取・消去や作業サポート(データモニタ、エイミング作業)用
一般的な整備作業に使用するスキャンツールです。

認証(電子制御装置整備)取得の際に必須のスキャンツールです。

対象機種は日本自動車機械器具工業会 HP に掲載

<https://www.jamta.com/scan-tool-list>

検査用スキャンツール

OBD検査を行う際に必須となるスキャンツールです。

OBD検査を行う際には、検査用スキャンツールとは別に、「特定 DTC アプリ」をインストールした PC 又はタブレットを用意する必要があります。

対象機種は機械工具協会 HP に掲載

<https://www.jasea.org/>

検査用スキャンツールの分類

-1 OBD検査専用スキャンツール (専用機)

OBD検査のみに対応したスキャンツールで、整備用スキャンツールとしての機能を有しないもの。

-2 OBD検査兼用スキャンツール (兼用機)

OBD検査及び整備用スキャンツールそれぞれの機能を有するもの。

補足：OBD検査準備会合資料『検査用スキャンツールの販売状況・予定

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001721800.pdf>